

2017(平成29)年度

認定看護管理者教育課程ファーストレベル

募集要項



学校法人東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター
看護職キャリア開発支援部門

認定看護管理者教育課程 ファーストレベル募集要項

1. 認定看護管理者教育課程ファーストレベルについて

東京女子医科大学は、1900年(明治33年)に「女医の養成と婦人の地位の向上」を目的に吉岡弥生が設立した東京女医学校が発展した、医学・看護学教育を担う大学である。

看護教育は、現在、看護学部並びに大学院看護学研究科(博士前期課程、後期課程)をもち、看護学部には認定看護師教育センターを設置し、日本全国の看護師の継続教育にも貢献している。

2006年(平成18年)には、本学に男女共同参画推進局(現:女性医療人キャリア形成センター)が設立され、そのひとつとして「看護職キャリア開発支援センター(現:看護職キャリア開発支援部門)」の活動が開始された。

「看護職キャリア開発支援部門」は、看護部職員と看護学部教員が協働し、看護師のキャリア支援に関して積極的な活動を推進しているが、看護管理者育成もその射程のひとつである。

本学には、大学病院をはじめ東医療センター、八千代医療センターなどの12の医療施設に約2,800人の看護職員が仕事をしており、看護管理者の育成は重要な課題でもあった。今回、日本看護協会の認定教育機関としての「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」を開講するにあたっては、本学の看護職員のみならず新宿区内外の他の医療機関の看護職にも広く情報を開示し、受講生を募り、ファーストレベル終了後の地域連携にも貢献することを目指している。

2. 教育理念

東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター看護職キャリア開発支援部門「認定看護管理者教育課程ファーストレベル」は、東京女子医科大学の「至誠と愛」の理念のもと、多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族および地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することをめざし、組織やコミュニティにおいてリーダーとして活躍できる能力を開発し、保健医療福祉において貢献する看護管理者を育成する。

3. 教育目的

- (1) 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。
- (2) 看護を提供するための組織化並びにその運営の責任の一端を担うために必要な知識・技術・態度を習得する。
- (3) 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力の拡大を高める。

4. 研修期間・時間

2017年6月3日(土)～9月30日(土) 分散形式

ただし、講師の都合等により変更することがある。

6月3日(土)・4日(日)・10日(土)・17日(土)・24日(土)

7月1日(土)・8日(土)・15日(土)・16日(日)・22日(土)・28日(金)・29日(土)

8月4日(金)・5日(土)・11日(金)・12日(土)・18日(金)・19日(土)・25日(金)・26日(土)

9月2日(土)・9日(土)・16日(土)・17日(日)・23日(土)・30日(土) 26日間 計150時間

(予備日/9月1日(金))

5. 研修者定数・会場

- (1) 定数 50 名
- (2) 東京女子医科大学 本部／女性生涯教育支援センター2階 多目的講義室
〔所在地：東京都新宿区河田町 8 番 1 号〕

6. 受講要件

- (1) 日本国の看護師免許を有する者。
- (2) 看護師免許取得後、実務経験が通算して 5 年以上ある者。
- (3) 管理的業務に関心があり、管理的業務に従事することが期待されている者。

7. 申し込み期間

2017 年 1 月 16 日(月)～2017 年 2 月 20 日(月) 【消印有効】

申し込み期間中にお申し込み下さい。申し込み期間を過ぎた日付の消印分は申込無効とします。

8. 申し込み方法

(1) 申込書類

郵便「簡易書留」のみ受け付けます。封筒に「ファーストレベル申込書在中」と朱書きすること。
返信用封筒以外の様式は折曲げ厳禁です。

次の 5 点を同封すること。

① 『認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講申込書』(様式 1)

(東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター看護職キャリア開発支援部門ホームページよりダウンロード可)

② 『顔写真』

申込み前 3 ヶ月以内に撮影したもの(縦 45mm×横 35mm)

写真裏面に氏名を記載し、受講申込書の写真貼付欄に貼付すること。

③ 『小論文』(様式 2)

課題：ファーストレベルの受講目的と自己の課題について

形式：パソコン使用のこと(手書き不可)、A4 用紙 1 枚(表紙不要)、1,000 字程度

課題(副題をつけてもよい)・氏名を冒頭 3 行以内に明記

引用・参考文献がある場合は明記をして下さい。

パソコン設定等：縦向き・横書き、上下左右 2cm 余白、文字数・行数 40 文字 25 行程度

MS 明朝、10.5 ポイント

(東京女子医科大学女性医療人キャリア形成センター看護職キャリア開発支援部門ホームページよりダウンロード可)

④ 『看護師免許証の写し』

(A4 サイズに縮小コピーすること)

⑤ 『返信用封筒』

角 2 封筒(240 mm×332 mm・A4 サイズが収まる大きさ)に切手 430 円分(簡易書留分)を貼付し、
申請者の住所・氏名を明記すること。

(2) 申込先・問合せ先

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8 番 1 号

東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター 看護職キャリア開発支援部門

認定看護管理者教育課程ファーストレベル事務局 宛

電話 03-3353-8112 内線 41382 電話対応は平日の 9:30～17:00 のみとさせていただきます。

E-mail : ns-career.bm@twmu.ac.jp

申込後のお問合せはメール対応とさせていただきます。

メールの際は、件名欄に【ファースト】氏名・所属施設名を明記して下さい。

文中にも氏名・所属施設名・連絡先を明記して下さい。

(3) 出願料

出願料 5,000 円(税込)を 2017 年 1 月 16 日(月)～2017 年 2 月 20 日(月)の申し込み期間内に所定の銀行口座にお振込み下さい。

振込先：〔銀行・支店名〕三菱東京 UFJ 銀行・東京女子医大出張所

〔口座番号〕普通預金 0009871

〔口座名義〕ガッコウホジノ トウキョウジ ヨシカダ イカク リジチョウ ヨシカトシマ

学校法人 東京女子医科大学 理事長 吉岡俊正

注意事項：銀行の電信扱いにてご依頼人名は申請者本人氏名でお振込み下さい。

振込手数料は申請者をご負担下さい。

出願料の領収証発行はございません。振込金領収証を大切に保管して下さい。

出願料納入後は理由の如何を問わず一切返還致しません。

※申込書類および出願料振込み等に不備がある場合は申込無効とします。

※提出された書類は返却いたしません。

※上記の申し込み方法及び注意事項等をご承諾の上、お申し込み下さい。

9. 選考基準

(1) 受講要件を満たしていること。

(2) 申込書に不備がなく、課題が明確に記載されていること。

(3) 小論文。

<小論文評価基準>

- ・目的と自己の課題は期待している通りである。
- ・具体的な体験に基づいており、深さ、説得力がある。
- ・文章が分かりやすく誤字・脱字がなく、体裁が整っている。

10. 受講者の選考方法

上記選考基準をもとにファーストレベル教育運営委員会で受講者を決定する。

11. 受講合否(内定)通知

2017年3月中旬迄に決定し通知する。

受講内定者には開催案内等を同封する。受講経費の納入を以って正式な受講決定とする。
止むを得ない事情により受講を辞退する場合は、合否通知に関わらず速やかに申し出る。

12. 受講経費

受講経費 171,000 円を 2017 年 3 月 31 日(金)迄に所定の銀行口座にお振込み下さい。

振込先：〔銀行・支店名〕 三菱東京 UFJ 銀行・東京女子医大出張所

〔口座番号〕 普通預金 0009871

〔口座名義〕 ガッコウホウジン トウキョウジ ヨシイダ イタク リジチョウ ヨシカトシマサ

学校法人 東京女子医科大学 理事長 吉岡俊正

注意事項：銀行の電信扱いにてご依頼人名は申請者本人氏名でお振込み下さい。

振込手数料は申請者をご負担下さい。

受講経費の領収証発行はございません。振込金領収証を大切に保管して下さい。

受講経費納入後は理由の如何を問わず一切返還致しません。

〔受講経費内訳〕

受講料：150,000 円(税込)

レポート審査料(1 教科 3,000 円×7 教科)：21,000 円(税込)

〔その他経費〕

レポート再審査料(1 教科)：5,000 円(税込)

テキスト・資料代は自己購入(負担)とする。

13. 受講手続き(受講正式決定)

受講内定通知後、2017年3月31日(金)迄に受講料が納入(銀行振込)された場合、正式に受講決定とする。受講料納入の確認が取れない場合のみ改めて連絡する。

14. 修了要件

- (1) 各科目の所定の時間の 80%以上の出席がある。
- (2) 各科目レポートの評価が C (60~69 点) 以上である。
- (3) ファーストレベル教育委員会において上記 (1) (2) に基づき修了審査を行う。

15. 教育課程**看護管理概論 (15 時間)**

＜科目のねらい＞

1. 看護管理者に必要な知識体系を学び、看護管理への活用を理解する。
2. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理のあり方を考察する。

単元	時間	講師(所属/職位)
看護管理の概要と基礎知識	6	飯島佐知子(順天堂大学大学院医療看護学研究科/教授)
看護管理者の役割と活動	3	井上由美子(三井記念病院看護部/ゼネラルマネージャー)
労働者としての労務管理の基礎知識	6	川野良子(東京女子医科大学/統括看護部長・看護職キャリア開発支援部門長)

看護専門職論 (30 時間)

＜科目のねらい＞

1. 拡大・変化する看護専門職の機能と活動範囲を予測し、看護実践の改善に向け考察する。
2. 看護の自律性と責務を理解する。
3. 看護に関連する法律や制度の変化を捉え、看護管理の視点で変化の意義や適応を理解する。

単元	時間	講師(所属/職位)
看護専門職としてのキャリア発達	6	佐藤紀子(東京女子医科大学看護学部看護職生涯発達学/教授)
	6	草柳かほる(東京女子医科大学看護学部看護職生涯発達学/講師)
看護専門職の自律と責務	6	池田真理(東京女子医科大学看護学部地域看護学/教授)
	6	佐藤紀子(東京女子医科大学看護学部看護職生涯発達学/教授)
看護の社会的責任と法的根拠	6	手島恵(千葉大学大学院看護研究科/教授)

ヘルスケアシステム論 (15 時間)

＜科目のねらい＞

1. ヘルスケアシステムの構造と現状、保健医療福祉制度を理解する。
2. 保健医療福祉制度の変化が看護管理に与える影響を理解する。

単元	時間	講師(所属/職位)
我が国のヘルスケアシステムの構造	3	寺崎仁(東京女子医科大学医学部医療安全科/教授)
診療報酬・看護報酬と看護	6	福井トシ子(公益社団法人日本看護協会/常任理事)
保健医療福祉の動向	6	清水洋子(東京女子医科大学看護学部地域看護学/教授)

看護サービス提供論 (30 時間)

<科目のねらい>

1. 看護サービスの基本的概念を理解する。
2. 看護サービスの対象となる人々の権利を尊重した看護サービスの提供過程を理解する。
3. 安全を保障しながら質の高い看護サービスを提供する方法を理解する。
4. 看護サービス提供上の問題を理論的に解決する思考を学ぶ。
看護管理者に必要な知識体系を学び、看護管理への活用を理解する。

単元	時間	講師(所属/職位)
看護サービスの基本的概念と看護サービス提供	6	松村幸美(東京女子医科大学東医療センター/看護部長)
看護サービスの質管理	6	金井パック雅子(関東学院大学看護学研究科/教授)
	3	中嶋美帆子(東京女子医科大学八千代医療センター医療安全対策室/師長・リスクマネージャー)
	3	中野聖子(東京女子医科大学東医療センター感染制御部/師長・感染管理認定看護師)
看護サービス提供上の問題解決	12	川野雅資(心の相談室荻窪/室長)

グループマネジメント (30 時間)

<科目のねらい>

1. 組織集団の基本概念、集団の力動的諸機能を理解する。
2. 看護チームにおけるリーダーの役割、医療チームにおける看護の役割を理解し、連携・協働のあり方を学ぶ。
3. 組織目的の達成に向けてメンバーが行動を取れるように諸理論の活用を考察する。

単元	時間	講師(所属/職位)
グループマネジメントの基礎理論	9	川野雅資(心の相談室荻窪/室長)
	9	諏訪茂樹(東京女子医科大学看護学部社会学/准教授)
看護チームのマネジメントとチーム医療	6	出口香緒利(東京女子医科大学八千代医療センター/看護副部長)
グループマネジメントの実際	6	出口香緒利(東京女子医科大学八千代医療センター/看護副部長) 大橋信子(東京女子医科大学/ファーストレベル専任教員)

人材育成論 (15 時間)

<科目のねらい>

1. 人材育成のための基本的な概念を理解する。
2. 現場（看護単位）における後輩育成や指導方法を理解する。

単元	時間	講師(所属/職位)
人材育成の基礎知識	6	坂本倫美(東京女子医科大学病院/看護部長)
人材育成の方法	6	木村弘江(国立国際医療研究センター病院/看護部長)
	3	坂本倫美(東京女子医科大学病院/看護部長) 川崎敬子(東京女子医科大学病院/看護副部長・ファーストレベル専任教員)

看護情報論 (15 時間)

<科目のねらい>

1. 情報の概念と特徴を理解し、倫理的な取り扱いを学ぶ。
2. 患者ケアに役立ち、看護の質改善に資する情報管理の在り方を学ぶ。

単元	時間	講師(所属/職位)
医療・看護情報の基礎知識	9	樋口由布子(東京女子医科大学病院/看護師長)
看護情報の倫理的側面と対応		
看護実践に活かす方法管理	6	川崎敬子(東京女子医科大学病院/看護副部長・ファーストレベル専任教員)

その他－論文作成の基礎知識 (1.5 時間)

<科目のねらい>

1. 論文やレポート作成に必要な基本的な知識と作成時のポイントについて学ぶ。
2. 論文やレポート記載時の正しい日本語の使い方について学ぶ。

単元	時間	講師(所属/職位)
論文作成の基礎知識	1.5	野呂幾久子(東京慈恵会医科大学医学部/教授)

16. 個人情報取扱いについて

出願および受講手続にあたって提出していただいた個人情報は、受講者選考・その後の学習支援等以外の目的で使用することはありません。

学校法人 東京女子医科大学

【本部／女性生涯教育支援センター】



【交通機関案内】

[都営地下鉄大江戸線]

若松河田駅下車 若松口 徒歩約 5 分

[都営地下鉄新宿線]

曙橋駅下車 A2 出口 徒歩約 8 分

[都営バス] 主な停留所

宿 74 系統 新宿駅西口 → 東京女子医大下車(終点)

宿 75 系統 新宿駅西口 → 東京女子医大下車 ← 四谷駅前

高 71 系統 高田馬場駅 → 東京女子医大下車 ← 市ヶ谷駅

早 81 系統 馬場下町(早稲田駅) → 東京女子医大下車 ← 四谷三丁目